

「より多様な生き方を可能にする 社会システムの実現」への覚書

東京大学名誉教授

神野直彦

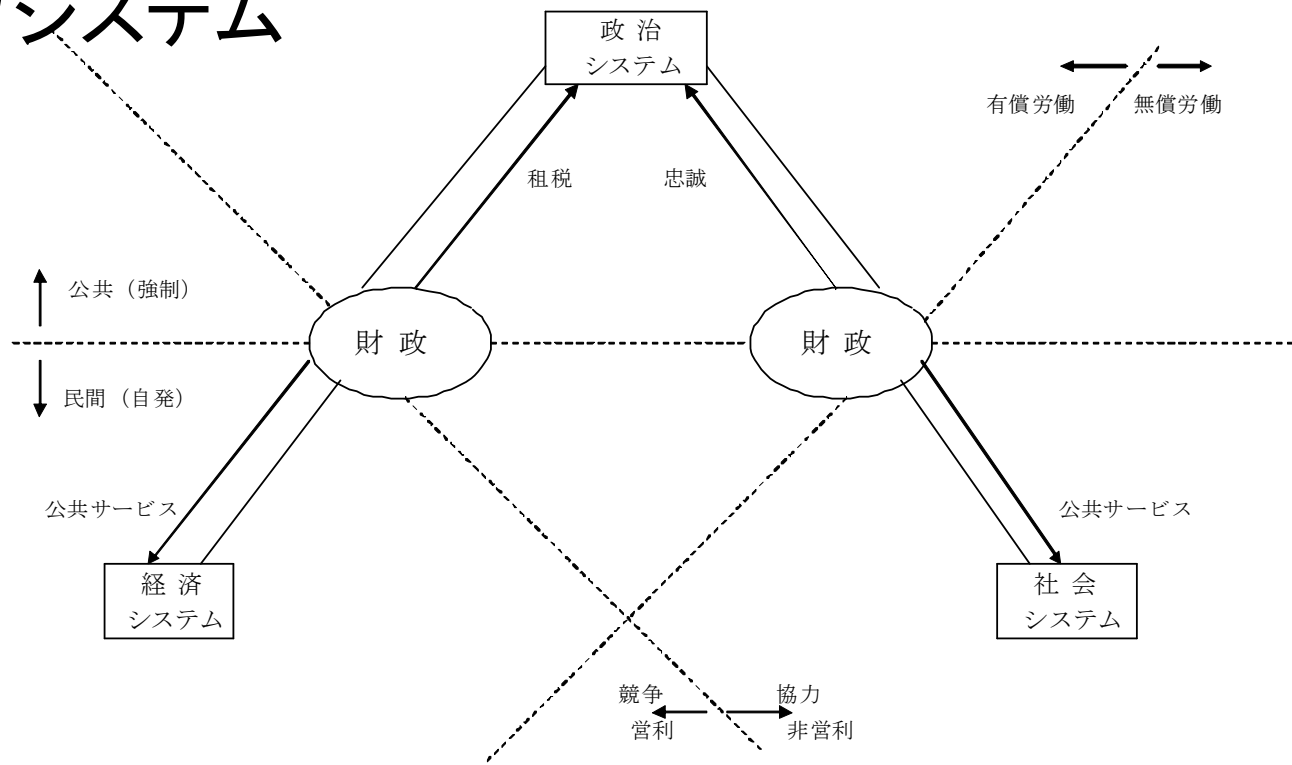
2012年6月21日

1. 「危機(crisis)」への財政社会学的アプローチ

◆危機が生み出した二つの経済学のパラダイム

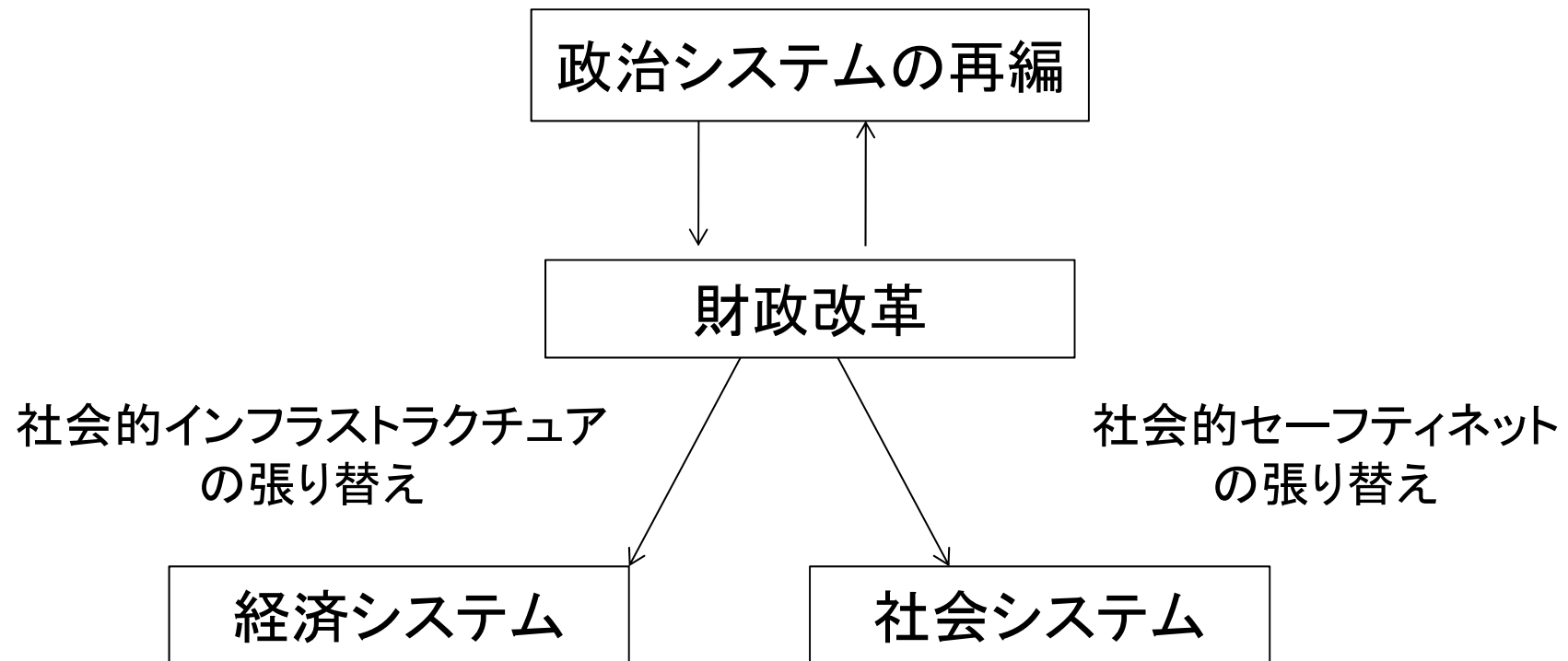
- ・新古典派
- ・財政学

◆トータルシステムとしての社会を構成する三つのサブシステム

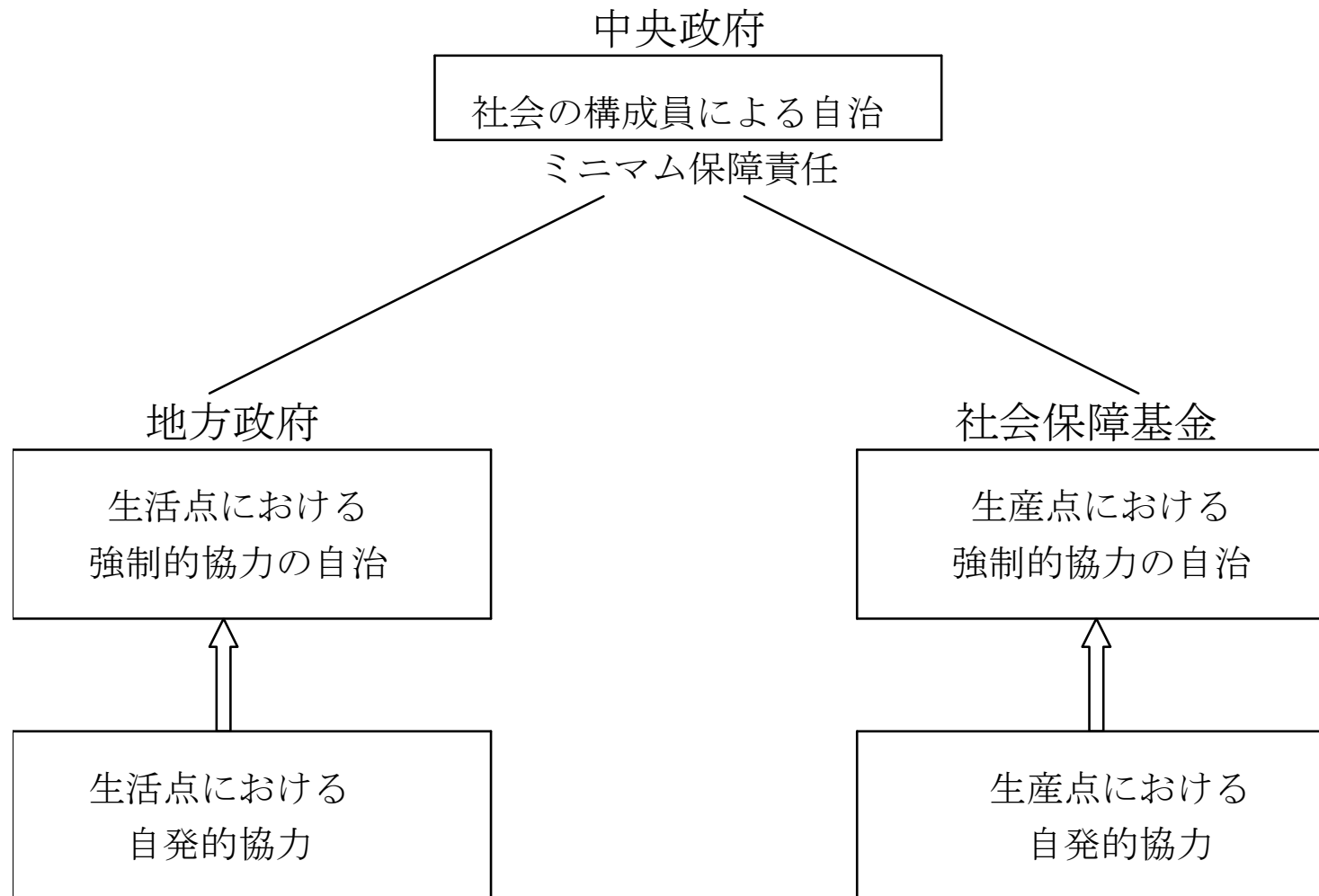


2. 「危機」における財政の使命

◆社会的セーフティネットと社会的インフラストラクチャの張り替え —— 安心そしてチャレンジ



3. 「三つの政府体系」のヴィジョン



4. より多様な生き方を可能にする 「良い社会(good society)」の概念

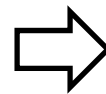
◆「オムソーリ(omsorg)」＝「分かち合い」と「ラーゴム(lagom)」＝「中庸」と
「すべての社会の構成員が互いに不幸にならないことを願い合っているという確信」に裏打ちされた「すべての社会の構成員がもっている掛け替えのない能力を発揮して、社会のために貢献したいという切なる願い」＝「エウデモニア」の実現
⇒連帯と平等

◆多様性＝生を共にすること、人間と人間、人間と自然

◆軽工業基軸の工業社会

「小さな政府」

女性・子供の「家計補充」型雇用



重化学工業基軸の工業社会

「大きな政府」

「男性稼ぎ主」型雇用



ソフト産業基軸の知識社会

「ほどよい政府(遠い政府による参加なき再分配から有効に機能する三つの政府)」

「ユニバーサル」型雇用

5. ポスト・福祉国家の三つのモデル

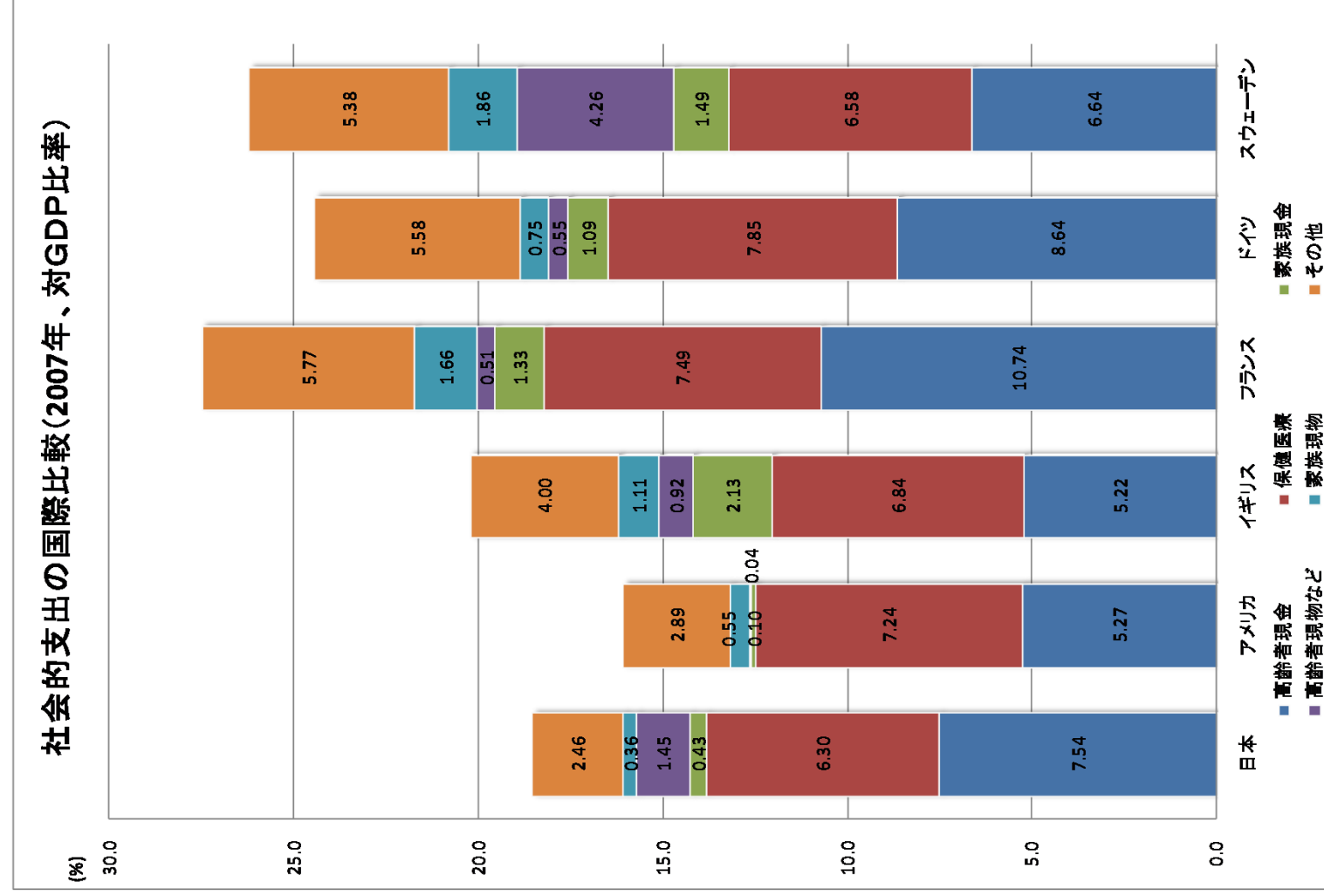
－「男性稼ぎ主」型、「両立支援」型、「市場志向」型

社会保障と経済的パフォーマンス

	社会保障 (公的社会支出のGDP比)	経済成長率 (00-10平均)	格差 ジニ係数	貧困率 相対的貧困率(%)	財政収支 (00-10平均)
フランス	28.4	1.51	0.281	7.1	-4.1
ドイツ	25.2	1.89	0.298	11.0	-2.4
日本	18.7	1.59	0.321	14.9	-5.3
スウェーデン	27.3	2.19	0.234	5.3	0.6
イギリス	20.5	1.30	0.335	8.3	-4.6
アメリカ	16.2	1.82	0.381	17.1	-4.8

注) 公的社会支出は2007年のデータである。ジニ係数と相対的貧困率は2000年代半ばのデータである
 出所) 一般政府の財政収支(対GDP比)はOECD *Economic Outlook* 89 (2011年6月) より作成
 経済成長率はWorld Development Indicators より作成
 公的社会支出はOECD, *Social Expenditure Database* より作成
 ジニ係数および相対的貧困率は, OECD(2009), *Society at a Glance* 2009

6. 現金給付から現物(サービス)給付へのシフト



出所)OECD "OECDStat." http://stats.oecd.org/Index.aspx?DataSetCode=SOCX_AGG

とっとり地域連携・総合研究センター 水上啓吾氏作成

7. 選別主義から普遍主義へ

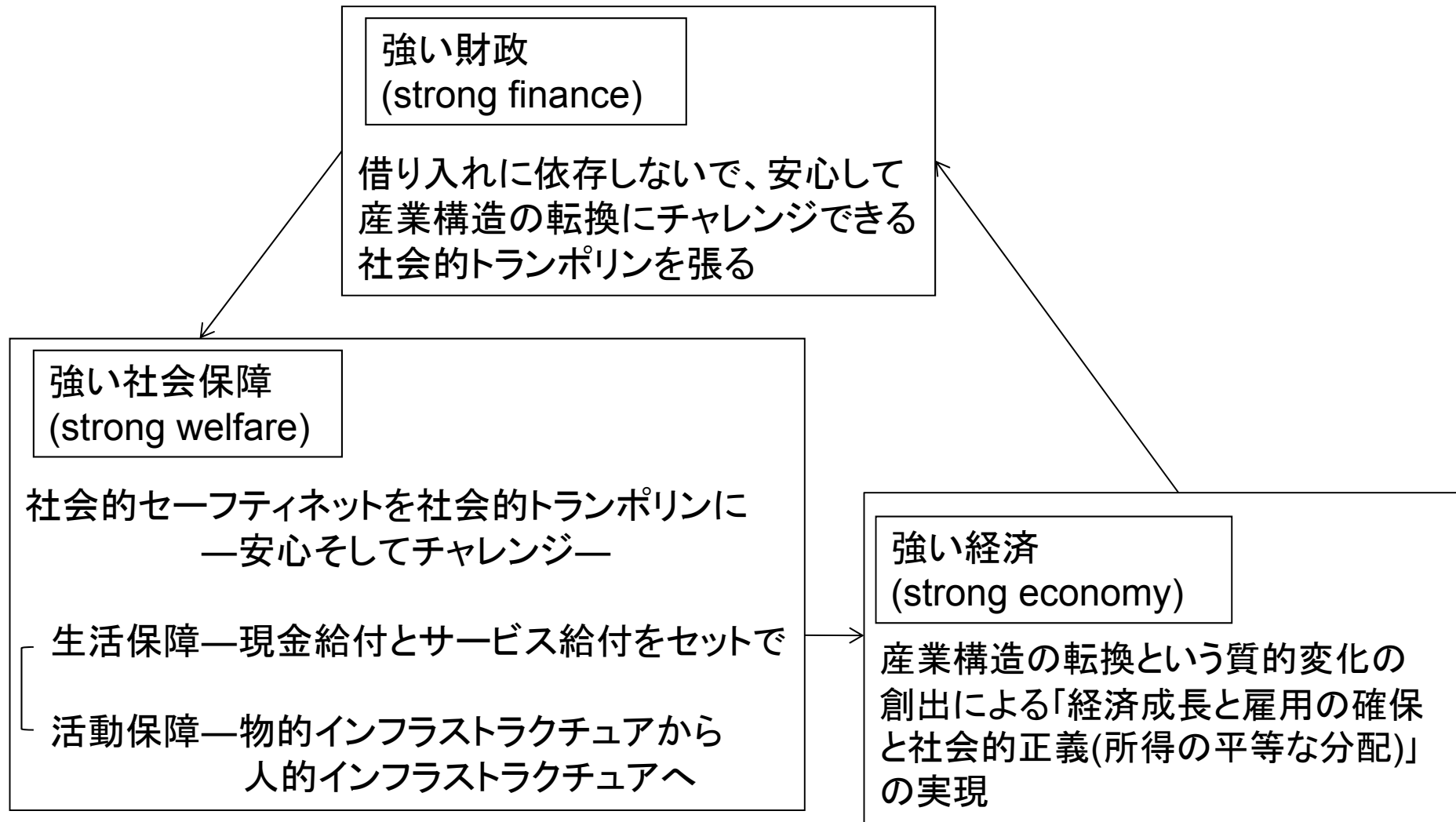
再分配のパラドックス

	社会的扶助支出	ジニ係数	相対的貧困率 (90年代半ば)	社会的支出
		90年代半ば		
アメリカ	3.7	0.361	16.7	15.2
イギリス	4.1	0.321	10.9	23.1
スウェーデン	1.5	0.211	3.7	35.3
デンマーク	1.4	0.213	3.8	30.7
ドイツ	2.0	0.280	9.1	26.4
フランス	2.0	0.278	7.5	28.0
日本	0.3	0.295	13.7	11.8

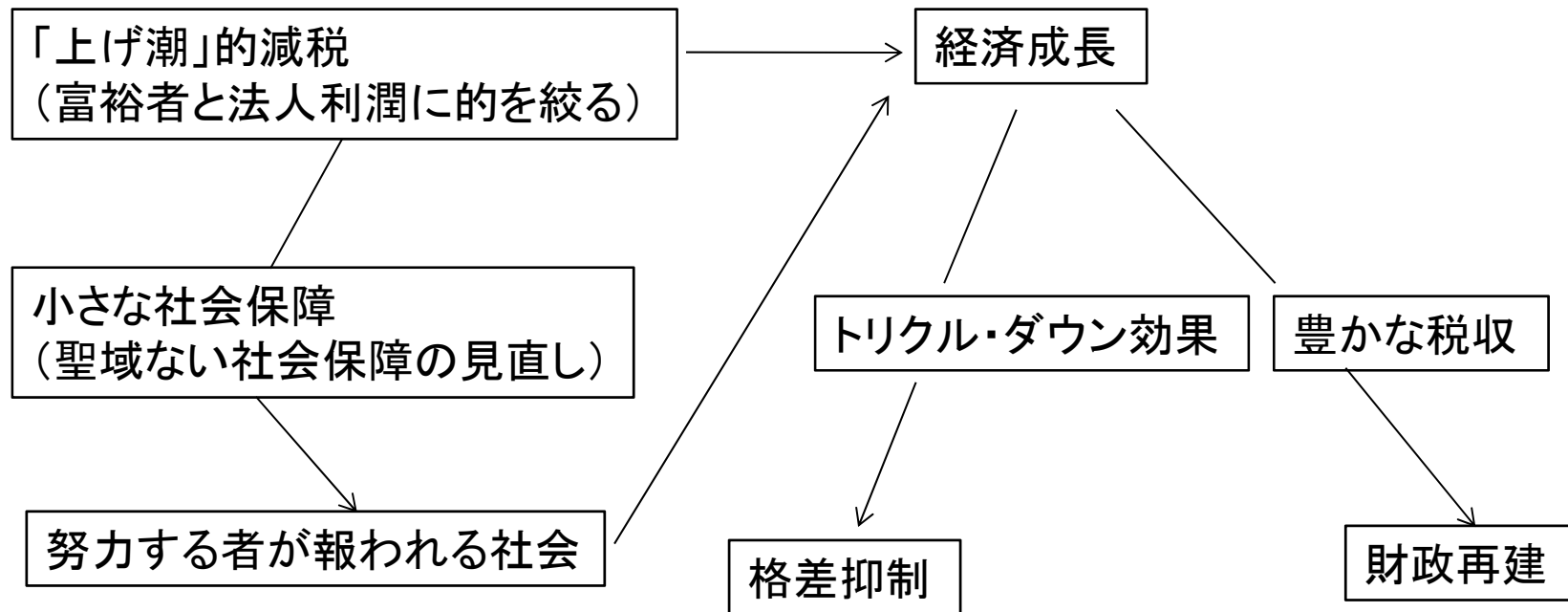
出所 社会的支出、積極的労働市場政策支出は、OECD、Social Expenditure Database、社会的扶助支出は、Tony Eardley, et.al., Social Assistance in OECD Countries: Synthesis Report, Department of Social Security Research Report, No.46, p.35. ジニ係数および相対的貧困率は、OECD、Society at glance: OECD Social Indicators: Raw Data <http://www.oecd.org/dataoecd/34/11/34542691.xls>

(注) 宮本太郎北海道大学教授による作成資料を修正して作成。

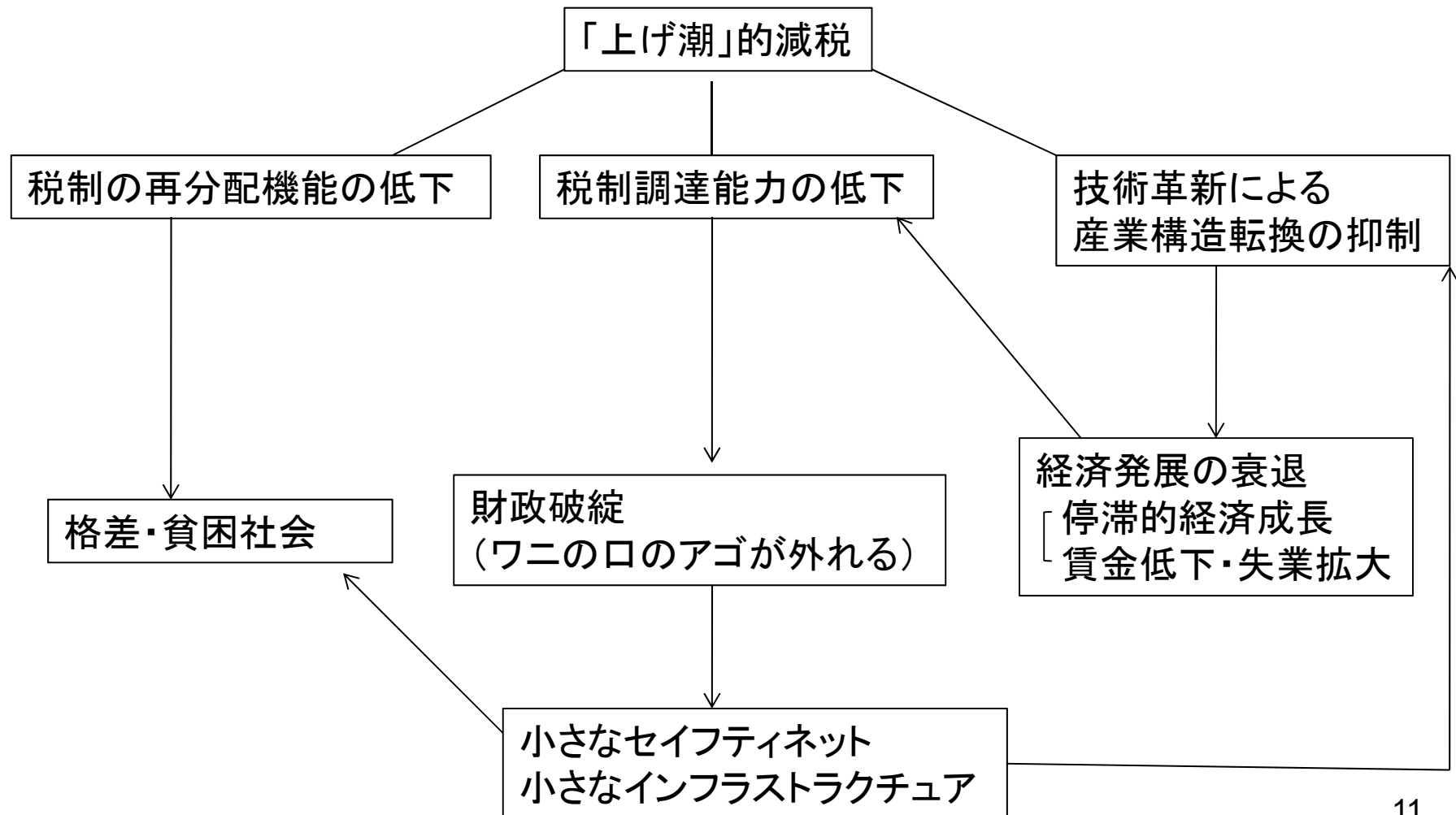
8. 有効に機能する財政が創り出す 「マイティー・トライアングル」



9. 「市場志向型」の税制改革の論理



10.「市場志向型」の税制改革の帰結



11. 「良い社会」への税制改革

◆税制改革では「正義」が基本原則

同じものを同じものとして

相違するものを相違するものとして

「」 匡正的正義

◆「両立支援」型では、所得税中心主義を補完するために付加価値税を拡充

◆「市場志向」型では所得税中心主義を堅持して「縮小」するが、サッチャー型の日本では所得税中心主義から間接税中心主義に移行するために縮小させる

⇒結果として「小さすぎる政府」の「大きすぎる赤字」となっている。

◆政策は支出で実行するのが原則なのに、政策を租税で実現したことの悲劇

◆課税単位で個人単位を採用しながら、家族状況に配慮した控除が多すぎる

ポスト工業社会の公正

- ・合算分割主義から個人単位主義へ

- ・個人単位主義の欠陥の修正

- ・社会保険は世帯単位の合算分割主義で

◆垂直的再分配と水平的再分配の強化⇒所得税と消費税(付加価値税)を基幹税とする税制の確立)

◆「小さな政府」の累進性

◆「大きな政府」の逆進性